



神奈川3区国政対策委員長 前県会議員

# 木佐木 ただまさ

日本共産党 見解を紹介します

いのちと暮らし  
守る政治をご一緒に

<プロフィール>

- 神奈川大学法学部卒
- 元法律事務所職員
- よこはま健康友の会 会長
- 横浜東民商顧問
- 弓道初段 1984年生まれ

## 政府は五輪中止決断を 住民の命と暮らし最優先の政治こそ!

政府は3度目の緊急事態宣言を発令しましたが、感染拡大を抑え込むことはできず対象地域は5月末までの延長となっています。

大会まで2か月余りとなった現時点でも何が何でも開催するという政府の姿勢に、確固たる根拠があると感じられる方がいるのでしょうか？

日本共産党は以下の3つの点から今年の五輪開催は中止するという政府の決断を求めてきました。

### ワクチン間に合わない、フェアにならない、医療のひっ迫…五輪は無理

1つは、政府自身が当てにしてきたワクチン接種が全く住民に行き渡らないという点です。横浜市でも予約電話が繋がらない、インターネット環境がないなどの声がたくさん寄せられています。オリンピック開催までに高齢者ですらワクチン接種が完了するのか見通せない状況で、選手や関係者1万人以上が集まるイベントを開催することが適切だと言えるのでしょうか。

2つ目に、フェアな大会・競技が保障できないという点です。この1年間で、各国により練習環境は激変し、今なおワクチン接種については国によって格差があります。開催の強行は、大事な理念すら見失ってしまうのではないのでしょうか？

3つ目に、夏の開催に当たっては熱中症などの対応に看護師500人、スポーツドクター200人の要請がなされています。しかし、どこでも医療がひっ迫し通常診療にも影響が出ている中で、どこからその人員を捻出できるのでしょうか。政府は、潜在看護師

がいるからと言いますが、そういった方からの協力を取り付けられるならば、医療現場こそ手厚くしていくべきです。

### 住民の暮らし後回しにさせない

今政府に求められているのは、福祉にどの程度のコストまで払えるかそろばんを弾くことではありません。住民の命と暮らしを守り抜くことを至上命題としてわき目もふらず取り組むことです。

7月4日に投開票となる東京都議会議員選挙でも、オリンピック開催の是非は大きな争点になってくると思います。地方でも国でも、住民の命と暮らしを「後回しにしない」政治を実現させましょう！

### 活動写真ニュース



5/10 鶴見駅宣伝



5/15 水道橋現地説明会



5/12 西寺尾神ノ木地域つどい